



ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第381号

新しい「からしだね」をめざして

アンケートの結果がまとまりました。ここ数号原稿の集まりがよく、なかなかお知らせすることが出来ませんでした。そこで今号はその一部を紹介しながら、今後の「からしだね」のあり方を考えてみたいと思います。

「からしだね」の「記事の中でどのような記事をよく読んでいますか。」との問いに28.3パーセント(36人)の方が、「神父様のメッセージ」をあげています。この問いは複数回答可としていましたので、アンケート回答者数57人中の6割以上を占めるものでした。以下「お知らせ、スケジュール」20.5パーセント「トップ記事」17.3パーセント「講話の記録(黙想会、平和の集い、大人の日曜学校等)」14.2パーセントと続きます。

「子供のページ(幼稚園からのお知らせを含む)」は11.0パーセントと低い数字でしたが、少子高齢化が進む中、教会の将来を見据え、より充実していくつもりです。

少し残念なのが「連載記事」(現在掲載中の仏教、イスラム教、ユダヤ教の紹介)が7.1パーセントと低かった事。教養色が強いので、「からしだね」を全ページ読んでいる」熱心な読者が楽しみに連載を待っているのでしょう。

アンケートの結果は、現在も少しずつ活用しています。2月号では、神父様にお願いして原稿を短めにしてもらいました。その上で、印刷文字を大きくしました。神父様のメッセージを楽しみにしておられる読者の高齢化を考えてのことです。今号トップも同じく活字を大きくしました。イラストも増やしていくつもりです。イラスト担当として高校生の宗真理恵さんも加わり、1月号には手描きのイラストを入れてくれました。今後の「からしだね」を、長い目で温かく見守っていただけたら編集委員も張り切ることでしょ。

新しい息吹	2面
はじめまして	3面
委員会報告	4面
外国人技能実習生の課題	5面
ペルーからの手紙	6面
幼稚園から	7面
お知らせ・教会学校より	8面

新しい息吹

青木神父

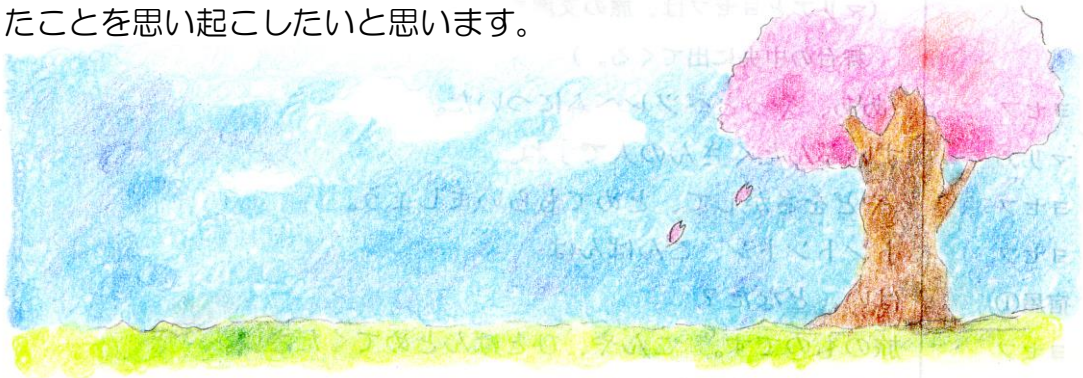
今年度も、1年が過ぎようとしています。1年間にいろいろなことがありましたが、なかでも、イ・スンヒョン神父様が、亡くなられたことは、大きな出来事でした。病の中でも、いろいろなことを私たちに残して下さいと思います。

私にとって、今、特に記憶に残ったのは、「自分は福岡教区の司祭です」と言っていたということです。ソウル教区という大きな教区で、教会の雰囲気を感じながら信者として過ごし、司祭を目指してこられました。そして福岡教区に来られ、スケールの違いを何か感じておられたのではないかと思います。そのような意味では、イ・スンヒョン神父様が自信をもって福音を伝えていかれた姿があったと感じます。そして、その姿が懐かしく思い起こされます。ソウル教区の話によく出ていたのではないのでしょうか。それにも関わらず、「わたしは福岡教区の司祭です」という自覚を大切にしながら、司祭生活を始められていたのです。

根は明るく、神学生の方にも冗談を言いながら、屈託もなく、自然と周りの人々ともかかわっておられました。気が落ち込んでいる感じがしたのは、病のせいだったと、後では皆が気づいたと思います。いろいろな趣味もあったようで、まだ幼子のような無邪気さも残して、若い人とのかわりをこれから築いていこうとされていたことも、懐かしく思い起こされます。

自分の考えも持ちながら、牧山勝美神父様のような他の先輩司祭の方々にも、よく相談して、北九州地区の共同体の一員として、司牧されていました。時には、先輩にごちそうにもなっていたようですが、それも、自分だけではなく仲間も誘ったことでした。

間もなく、春が訪れます。春は命が再び芽生えるときです。新しい息吹と共に、イ・スンヒョン神父様が、また、私たちの心に、福音の息吹を注ぎ込んでくださったことを思い起こしたいと思います。





はじめまして



私は金成根(キムソングン)と言います。2017年の1月から水巻教会に通っています。昨年12月24日の転回式でカトリック信者となり、皆さんの一員になることができました。私は2005年の2月にプロテスタント教会で洗礼を受けましたが、イエス様そして神様を信じる事ができなくなり、10年以上も教会に足を踏み入れていませんでした。それが2016年頃よりある信者さんの誘いで神父様と触れ合ったり、カトリックの催しに参加させていただき、「イエス様に見つけられた迷った羊の様に」教会に戻ってくることができました。大変うれしく思っております。

水巻教会に通い始めて転回式を迎えるまで、カテキズムを通じてキリスト教についてより深く学ぶ機会をいただきました。私が教会、そしてイエス様に出会ったのは私が二十歳の頃、失恋による苦しさから逃れる為でした。私は許されたいと願いました。それ以来私にとってキリスト教とは許しを知る事、そんなふうに思っていました。ですがカテキズムの分かち合いを通じて他の人の思いや考えを聞いたり、自分自身の状況に置き換えて考えたりしているうちに、ただなんでもかんでも許して受け入れていては、ダメなんじゃないかと思うようになりました。イエス様も教会にいた物売りや商人たちを激しく非難し、怒りを示した時もありました。そして私はイエス様を信じることは良心を信じる事ではないかと思うようになりました。それぞれの人の中にある良心を、ある人がその人自身の良心、又は他の人や私の良心を傷つけようとした場合は、抵抗したり、自分を守ってもいいんじゃないかと思うようになりました。また自分自身、または人の良心を育むような行動は、積極的に行ってもいいんじゃないかと思うようになりました。それがこの世に天国を実現するという事、少しずつでもこの世に天国を実現するという事なのではないか、そう思うようにもなりました。もし世界中の人々が一片たりとも良心に背くことなく行動出来たら、悪(恐れや弱い心)に打ち勝つことができたなら、この世は本当に天国になるんじゃないか、そんなことを思っている今日この頃であります。

皆さま、共同体の一員としてこれからもどうぞよろしく願いいたします。



委員会等報告

2019年2月分

2月度小教区委員会 2月3日

1. 行事予定

- ・3月 3日(日) 小教区委員会
- ・3月 6日(水) 灰の水曜日
9:30～、19:30～
- ・3月 8日(金) ホームレス炊き出し
- ・3月 10日(日) 典礼委員会
- ・3月 17日(日) 四旬節第2主日 黙想会
講師 青木神父様「信仰の振り返り」
- ・3月 22日(金) 共同回心式
10:30～ 青木神父、江夏神父、
牧山美好神父
19:30～ 青木神父、大塚神父、
井手神父
- ・3月 23日(土) 役員会 10:00～
- ・4月 7日(日) 小教区委員会
- ・4月 14日(日) 受難の主日(枝の主日)
- ・4月 18日(木) 聖木曜日 19:30～
- ・4月 19日(金) 聖金曜日 19:30～
- ・4月 20日(土) 聖土曜日 19:30～
- ・4月 21日(日) 復活の主日

2. 議題

北九州信徒教 代表者会議報告

(1) 青少年育成部会より

3月24日(日) 北九州青少年合同黙想会

場所: 新田原教会 9:00～

ミサに参列後、黙想会を開催

(2) 福者ディエゴ加賀山隼人殉教400年祭

主催: 北九州信徒使徒職協議会

日時: 10月14日(月・体育の日)

10:00～講話 11:00～ミサ

場所: 小倉教会

(3) その他

①クルシリヨ 5月2日～4日 講師未定

②各教会の相互援助について

今後、北九州地区として検討していく。

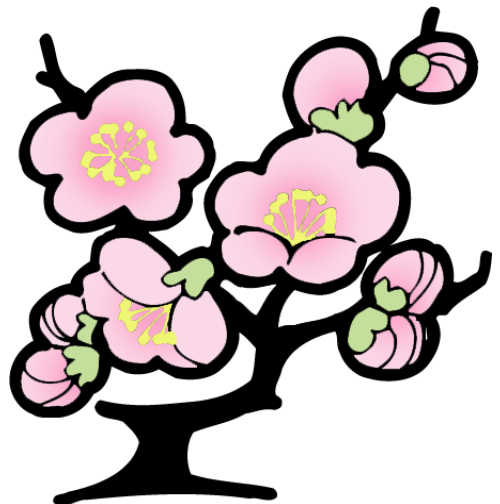
③女子パウロ会の支援

訪問販売をお手伝いいただける方、探しています。

3. その他

●3月からミサの前に福者ディエゴ加賀山隼人 殉教400年に向けて「加賀山隼人とその家族への祈り」「加賀山隼人への祈り」を唱えます。

●四旬節の間(3月10日～)、朝9時から十字架の道行を行います。



外国人技能実習生の課題について No.3

長崎教会管区技能実習生対応担当 岩本光弘

それでは私たちは何をすべきでしょうか。外国人のことは難しいと考えますか。私は簡単に言えば難しいと思います。しかし、私はやさしい面もあるとも思っています。

イエス様は多くの人に話をされましたが、全てが自分と同じ考えを持っている人でなかったと思うのです。むしろ自分に反感を持っている人にもたくさん話をされています。

日本で生きてきた私たちの根底には島国根性と外国人に対する排他的な思想があると思うのです。私もこの活動をする前はそのとおりでした。

私は普通の人と違って辺境の地(チベット・ネパール・ブータン・中国の奥地など)の旅をしてきました。そのような国に行くと沢山の民族が共生していて、まともに学校に行ったこともない人たちが、いくつかの言語を話すことが普通でした。学校であれだけ習った英語が全く身に付いてない自分と比べて驚きでした。そこでどうしてだろうと考えました。

彼らは言葉も風習も人種も違う人たちと、毎日の生活で普通に何の力みもなく接しています。同じ地域で違う民族が一緒に生活して行くことや、他の地域に移動することが普通であれば、私たちのように排他的になるようでは生活が成り立たないと思いました。そこで私は外国人に会う時は、特別な人に会うという気持ちを捨てることで壁を乗り越えてきました。皆さんも普通の若い人が教会に来ているという気持ちで気軽に声を掛けてみてください。

そこで問題になるのは国別に性格が違うことですが、それも何度か話すことで彼らのことが理解できるようになります。ぜひ話しかけてください。

教会に来る実習生の後ろにはカトリック信徒ではない何人もの同僚がいます。私は難民移住移動者委員会が発行している技能実習生向けのリーフレットを渡すとき「**職場には教会に来ない友だちもいるだろう**」と言って彼らの分まで渡すことにしています。彼らも必ず数枚は持って帰ります。教会で技能実習生に出会った時は「**困っていることはないか**」「**困っている友だちはいないか**」「**みんなを助ける人たちがいる**」と伝えてください。イエス様は信徒であるか信徒でないかで差別されませんでした。全ての人を救おうとされたのですから、私たちもそのようにすべきだと考えています。彼らから相談があるとされたら私に連絡してください。私には相談を受けたら、問題を解決するために働く沢山の仲間がいます。彼らのほとんどはキリスト教徒ではありませんが、自分の時間とお金を使って活動しています。

最後にベトナム人信徒のことを書きます。ベトナムはフランスの植民地でしたから沢山のカトリック教徒がいます。福岡教区では行橋、久留米、浄水通、熊本、佐賀でベトナム語のミサが行われています。彼らはとても熱心な信徒です。ミサには毎回 150 人くらいの青年が集まります。彼らの聖歌の歌声や祈りの声で聖堂が割れんばかりになります。

ミサの前と後には許しの秘跡を受けるための長い列が出来ます。ベトナム人の神父の話では、一週ミサに行かなかたら許しの秘跡が必要だそうです。許しの秘跡を受けてないからと聖体拝領をしない青年もいます。もちろん、その青年たちはミサ後に許しの秘跡の列に並んでいます。みんな 20 代の青年ですよ。彼らには本当にびっくりします。

ペルーからの手紙

水巻カトリック教会 主任神父様、信徒のみな様

新しい年を迎え、希望と喜びにあふれる日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

水巻カトリック教会の神父様、信徒の皆様におかれましては、毎年、ペルー、マリアタキ保育園をお心にかけていただき、暖かいご支援を下さいますことに心から感謝申し上げます。先日、日本管区のシスターを通して、レプトン会から現金30万円が送金されていたとの連絡をいただきました。心より感謝いたします。

ペルーの人々の屈託のない笑顔と、単純で素朴な生き方は、わたしたちに神さまに信頼して生きることの大切さを教えてくれます。年を経た今、宣教女の加齢と若い現地の修道女の養成に難しさを感じる毎日ですが、それでも、前向きに希望を絶やさず、元気に神様の愛を人々に伝える使命を果たしています。おりしも、中米パナマにおいてパパ様を囲んでワールドユースデー大会がおこなわれています。パパ様は集いの中で、「わたしたちがここにいるのは、皆さんと一緒に、教会の尽きることのない新しさと若さを再発見し、新しい聖霊降臨に自分たちを開くためです。それを可能にするためには、共に歩み、耳を傾け合い、兄弟たちへの奉仕を通して主を証しすることが必要です」と話されました。

ペルーからも約1,000人の若者がこの大会に参加しています。世界の平和と一致を祈りつつ、若い力に未来を託し、私たちにできることを喜びのうちに言い、「マリア様のように神に答える勇気を」日々祈り求めながら、希望のうちに歩みを進めていきたいと思ひます。

皆様からの温かい励ましに支えられていることに力を得て、感謝のうちに奉仕の業に励んでまいります。どうぞこれからも、よろしくお願ひいたします。

イエスのカリタス修道女会 リマの聖女ローザ準管区 管区長シスターテレジア川端
代筆 管区秘書 シスターマリー中村

追伸

今年の9月過ぎに、私、シスター中村は日本へ行く予定です。その際にできましたら皆様にご挨拶させていただきたいと思ひます。

マリアタキ保育園の子供たちの写真を添付いたします。保育園での活動のひとつです。





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 3月のお知らせ

今年度が無事に終わりますこと、皆様に感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

子ども達がドキドキしていた豆まき。鬼さんが登場すると、驚いた子ども達。けど、さすが年長児。「怖くない」と言って、早く豆を投げたそうにしていました。年少児はすこ～し怖かったようです。そんな子ども達も、鬼さんのお話をよ～く聞いていました。

「お母さんのお手伝いができているか？」

「すぐに泣いてしまう子はいないか？」

「嘘をついちゃうことはないか？」

鬼さんの問いかけに、考える姿が見られました。誰にでもある、自分の中の”弱いところ”。そんな弱いところを追い出すために、みんなで豆まきをしました。最後には、達成感のある表情をしていた子ども達でした♪「やさしい鬼さんだった！」と言った年長児。みんなに大切なことを教えてくれました🐱



【おはなしこんぺいとう】

- ・日 時：3月8日(金) 10:30～12:00
 - ・場 所：水巻聖母幼稚園 2階ホール
- 未就園児のお友達、お待ちしております。
準備の都合上、事前にお電話を頂けると幸いです。

【第56回 卒園証書授与式】

- ・日 時：3月16日(土) 10:00より
- ・場 所：水巻カトリック教会

TEL：093 201 9559

e-mail:contactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

2月9日(土)に、2回目の保育参観・朝のおやつを試食会(1月から白砂糖や添加物が入っていない物を採用する)がありました。

ご家族の方のお顔が見えると、「あっち行く。」としきりに言う子どももいましたが、普段と変わらず、その子らしく、過ごしていました。外に出る時間になって小雨が降ってきたので、部屋で鉄棒でのぶら下がりや、ホールでボール遊びをしました。10月の運動会から欠かさず続けているかけっこで、楕円を走れるようになったのを披露できなかったのが残念でした。外で体を動かすことが一番楽しいようです。教会への階段を這って登



り反対側の坂道を走って下ったり、よーいドンでかけっこをしたり、散歩に出かけたなど、冬の季節を精一杯楽しんでいます。



TEL：050 5212 7759

HP:水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長シスター松川明子・職員一同



3月のおしらせ



★特別献金★

1月27日 世界子ども助け合いの日献金
24,550円
ご協力、ありがとうございました。

★黙想会★

日 時：3月17日(日)
指導司祭 青木神父
テーマ 「信仰の振り返り」
詳しい日程や内容は、日曜日のお知らせ
や週報でご確認ください。

★共同回心式★

日 時：3月22日(金)
午前10時30分～
午後7時30分～
水巻教会で参加できない時は、北九州信
徒協だよりに、他の教会の共同回心式の日
程が載りますので、ご覧ください。

★灰の水曜日★

日 時：3月6日(水)
午前9時30分～、午後7時30分～
※この日は、大斎・小斎です。

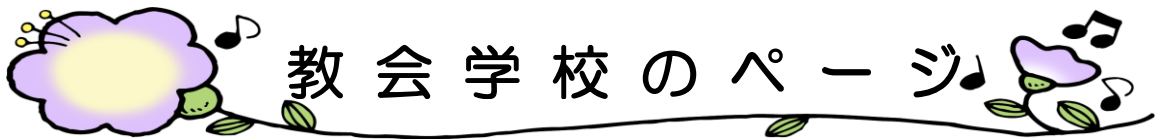
★ホームレス支援炊き出し★

日 時：3月8日(金) 10時～
場 所：水巻教会 信徒会館
たくさんの方のご協力をお願いします。
詳しくは、教会のお知らせをご覧ください。

★ミサの前の祈り★

3月からミサの前に福者ディエゴ加賀山
隼人殉教400年に向けて「加賀山隼人と
その家族への祈り」「加賀山隼人への祈り」
を唱えます。

また、四旬節の間(3/10から)は、朝
9時から十字架の道行を行います。



2月10日

来たる4月21日のご復活に樽角樹祈君が初聖体を受ける事となりました！(^^)
毎週、侍者として神さまの一番近くでお手伝いし
てくれている樹祈君、今学期は、ご聖体の恵みのお
勉強を頑張ります！

早速、この日は初聖体テキスト「うれしいはつせ
いたい」を、読んで行きました。

樹祈君が元気で、初聖体のよろこびの日を迎え
られるようにみなさんも、お祈りください。



【子ども達もお世話になった
宮崎神学生の送別会】